

創立142周年



学校だより

は え

南風の子

中種子町立
南界小学校

平成27年6月10日(水)発行

やる気を育てる感動の力

校長 岡留祐宏

梅雨に入り、雨の日が続いています。「あじさいの藍に魅かれて立ち止まる」の句に詠まれた光景を身近に目にする時期になりました。新年度も2か月が経過し、1学期後半へと折り返したところです。

さて、本年度は、「確かな学力の育成」「自信と自己肯定感の育成」「心身のねばり強さ」の3つを大きな目標として日々取り組んでいます。その達成のためには、子どもたちにやる気を持たせ、満足感や達成感を味わわせる教育活動が不可欠です。「わかった、できた。」という喜びや、「絶対できるようようになりたい」とか、「やれば、きっとできる」といった気持ちをどの子どもにも育てたいと考えています。

椋鳩十先生は、「感動は心の扉を開く」という本の中で「感動というやつは、人間の心を変えるんです。感動は心の中に起こる大爆発であり、大地震ですよ。そして、奥深く沈んでおる力をぎゅうっと持ち上げてきてくれる、そういう性質を持っているんです。人生にとって大切な源(エネルギー)なんですよ。われわれは何回も感動を受けては、心の中の灯を大きくし、感動を受けるたびに心を変え、人間を変えていく。人間というのは、何に出会い、何に感動するかということが大事だね。特に、本の感動というやつは大きい。子供の心の中に美しい感動の体験や思い出を持たしてやるということは、非常に大事なことだと思いますな。」と、述べています。

そこで、日々の授業において、自分の考えや思いを自信持って友達に伝えられるようなコミュニケーション能力を伸ばす学習活動、「わかった。できた。」という感動を友だちと共有できること、「やればできる」「もう少しがんばろう」というやる気や意欲を高めるしていくことが、「確かな学力」「自信」「心身のねばり強さ」の育成につながっていくものと思います。



6/10のソテツタイム後の感想発表。
20人が自ら立って発表しました。

感謝の宿泊学習 学びを日々の生活に

5月20日から1泊2日で、5、6年生の宿泊学習を行いました。一昨年に続いて熊野のレクリエーション村での実施です。

実施にあたり、町教育委員会や企画課の方々に、用具類の整備、シーヤックの運搬や指導、メヒルギ学習の指導等、いろいろと御世話になりました。保護者の方々にもキャンプファイヤーの薪運搬等の協力もいただきました。お陰様で予定通りに活動を実施することができました。ありがとうございました。

活動中のいろいろな場面で、自ら考え協力して動くことが求められます。テント設営や炊飯活動は2日間の生活するために必要不可欠な活動です。戸惑いもあったでしょうが、分担してよく取り組んでいました。包丁さばきに慣れている子ども、調味料の加減を判断する子ども、片付けの見届けをする子どもなど、いろいろな姿を見ることができ、実りある宿泊学習になりました。今回、取り組んだことや気付いたことを今後の生活の中で生かしてほしいと思います。



メヒルギ樹林での学習

梅雨時期の事故防止！

梅雨に入り、雨の強い日は側溝から水が流れ出す場所もあります。川や海岸等の水辺への注意も必要です。徒歩による登下は、体力・気力づくり、注意力や判断力、計画性の育成等々、様々な効果が期待でき、できるだけ歩くことを勧めたいところですが、荒天時の登下校には、特に安全確保が必要になる日が出てくると思います。学校でも、改めて子どもたちに注意を促したいと思いますが、登下校の時間に急に雨足が強くなることも予想されます。送迎について急なお願いをする場合もあろうかと思っておりますので、ご配慮方、よろしくお願いいたします。